

# 第10回東三河サイエンスカフェ 2008年4月17日(木) 午後6時30分～8時00分 豊橋駅前サテライトオフィス

30周年  
国立大学法人豊橋技術科学大学  
開学30周年記念事業  
—確かな礎から未来へ—

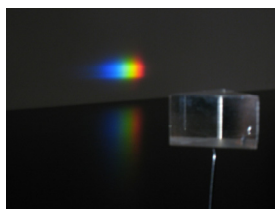


<http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/~kawai/cs/>

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

## 光ってなんだろう —光の本質とヒトの視覚—

私たちの生活に欠かすことのできない光。光の本質とはいったい何でしょうか？ ニュートンやホイヘンスを初めとする多くの科学者が光の本質を探究してきました。シャボン玉やCDが色づいて見える現象は光が波であることを示しています。現在では光はある特定の波長を伴った電磁波であると考えられています。磁場が変化するとその周りには電場が生じ、電場の変化が磁場を生み出しますが、この変化が次から次へと繰り返され光（電磁波）は真空中や媒質中を伝わっていきます。この目に見えない、変化する電場と磁場が光（電磁波）の本質になっています。



さて、光は波としての性質だけでなく、粒子としての性質も持ち合わせています。光の粒子性は太陽電池や光触媒のような人類が造り出した科学技術にも応用されていますが、植物が行っている光合成やヒトが光を見る仕組みもこの粒子性が関係しています。

私たちはなぜものを見ることができるようでしょうか？  
光の本質とヒトの視覚を探ってみましょう。

★ゲストスピーカー：  
山脇 正成 先生  
愛知県立  
豊橋東高等学校

★先生のご専門：  
物理

★先生からの一言：  
桜や新緑、真っ青な空や海、紅葉、白銀の世界。光は私たちに四季折々の美しい世界を楽しませてくれます。今宵は皆さんとともに「光」や「視覚」に関する現象にスポットライトを当ててみたいと思います。

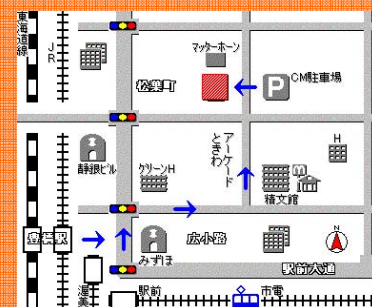
★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。定員に達し次第しめきります。

事前に参加申込をしてください。

★申込：参加希望の方は、「第10回参加希望」と明記し、「氏名」「年齢」「連絡先（電話番号またはメールアドレス）」をお書きの上、下記のメールアドレスまたはFAXあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局  
メール：chiren@office.tut.ac.jp  
FAX：(0532)44-6509  
申込〆切：4月16日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。



★会場（豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス）：豊橋駅から、広小路どおり、ときわアーケードを通り抜けた先の左側にあります。駅から徒歩5分。電話：(0532)55-8252